

## 都市の3Dデジタルマップの実装に向けた産学官ワーキンググループ（第1回）

日時：令和2年12月1日（火） 17時30分～19時00分

場所：オンライン開催

### ● WGでの主な意見

- 先行事例としてヘルシンキとシンガポールがあるが、東京都の目指す方向性としてはヘルシンキがイメージとしては近い。
- データ公開では、標準化（CityGML等）とデファクトスタンダード（DXF等）の流れがある中で、どこに落とし込んでいくかを検討する必要がある。
- より詳細な情報を扱えるようになってきているため、データ取得の仕方、その後の手当の仕方などプライバシー侵害や遵法性について注意していく必要がある。
- 建物の構造や建物全体イメージだけでも個人の資力が概ねわかるため、このようなユースケースについても注意が必要。
- サステナブルに運用できる仕組みについて検討することが重要。
- 都の既存事業でかかる費用も含めた中で、どこまでを民間データで賄うのか、どこまでをオープン化していくのかを詰めていくことが必要。
- 国交省都市局では、全国50都市で3D都市モデルの整備や利活用、オープン化を検討しており、今回の取り組みと連携して進められると良い。

### ● 議論のまとめ

- 第1回WGの意見を踏まえ、次回以降、具体的なデータ仕様、整備・更新スキームなど議論していく。
- アンケート調査を別途予定しており、3Dデジタルマップへの期待、利用にあたってのインセンティブや制約事項等を整理予定。本WGの中でも参考にしていく。